

果てない感性、で盈つる世界。—初音ミク—雪歌ユフ (BPM 180)

見つめている世界、ですらも、
君と僕、其々で異う色、であるらしく。
正解も、不正解も無いなら、
僕等は、此等全てを感性、としたのだ。

嗚呼！綺麗な星の夜。
君には、如何、映像るの？——

視つめている人、の多彩も、
君と僕、其々が異う道理、通りなの。
人の数、だけの世界とも、
僕等は、系ぎ得ると、祈るばかりだったけど。

嗚呼。此の景色じゃ、
解らない心、だらけだ。——

ほしのかず、ほどあふれている。
ひと、ひとりひとり。それぞれのいろ、でみちている！